

Psoria News

発行 大阪乾癬患者友の会(梯の会)
編集 友の会編集委員

特集

第103回日本皮膚科学会



... INDEX ...

- ・皮膚科学会参加記(P1)
- ・「生物学的製剤・21世紀の乾癬治療」藤田真由美先生(P3)
- ・5周年記念誌発刊(P4)
- ・小林仁先生と懇親会(P5)
- ・三重の会行事参加記(岡田)
- ・乾癬学会 in 山形案内(P6)
- ・第11回学習会案内(P7)
- ・お知らせなど(P8)



会場の京都国際会館

第一〇三回日本皮膚科学会がさる四月十六日(金)～十八日(日)に京都市左京区宝ヶ池の「国立京都国際会館」で開かれましたが、大阪乾癬患者友の会は全国の患者

初めてのPR活動

京都で全国の患者会が協力

第一〇三回日本皮膚科学会

会と協力して初めて皮膚科学会に展示参加しPR活動を行いました。この学会は全国の病院、開業医、大学、研究所など五千人以上の多くの皮膚科医、皮膚科学研究者が参加する非常に大きなイベントです。全国の乾癬患者会は「乾癬学会」においては、既に展示参加や学習懇談会を行うのが定着してきましたが、「皮膚科学会」では現在まで患者会としての参加はありませんでした。しかし、今回初めて学会会場で京大皮膚科の宮地教授の御厚意と御尽力により、日本皮膚科学会総会会場で全国の乾癬患者会の広報活動をイベントホールにブースを用意して頂き活動することが許可されました。これは各種皮膚疾患の患者会としても初めての試みです。

今回は場所が京都ということもあり、大阪乾癬患者会が中心になつて準備を行いました。全国の患者会からの共同開催という形をとり、各地の患者会の存在や活動を広く医師や研究者に呼びかけました。各地の乾癬患者会からは、北海道の稲葉氏、東京の阿高氏、愛知の長谷川氏、保田氏、三重の富井氏が遠路はるばる京都まで駆けつけて頂きました。

◆◆会場でPR活動◆◆

会場ではイベントホールの入り口付近という最もいい場所を提供して頂くことが出来、「全国乾癬



乾癬患者会コーナー



全国の会を紹介

患者会のコーナー」を設け、各患者会の一覧マップ、患者会の説明、各患者会の会報や機関誌及び患者会発行のパンフレットなどを展示しました。ホールには製薬関係や医療器具関係の各メーカー、医療関係の書籍販売などが広大なブースで行われ、終日全国の医師や研究者でごった返していました。が、そのちょうど入り口というところもあり、患者会の展示は多くの関係者の関心を引きました。立ち寄って会報やパンフを見るだけでなく、我々患者会のメンバーに色々質問をしてくれたり、資料を欲しいと依頼される関係者も少なくありませんでした。また多くの



立ち寄って下さる方に説明

医療関係者から激励の声を掛けて頂きました。さらに全国の患者会の相談医で私達にも顔なじみの先生方も多く参加されており、学会発表の合間に患者会のブースに立ち寄って声を掛けて頂きました。出来上がったばかりの大阪乾癬の会の五周年記念誌も用意していた三百部の多くを配布することができました。

◆◆京都の町で懇親会◆◆

十七日(土)の夜は京都市内の「本家だるまや松原店」で全国の患者会の懇親会を行いました。各



多くの人が関心を

患者会からは稲葉氏(北海道)、阿高氏(東京)、長谷川・保田氏(愛知)、富井氏(三重)が参加され、大阪の会からは岡田会長を始めとして、長船、加納、赤瀬(夫妻)、浜田、高橋、池内、小林が参加しました。会場は京都らしい落ち着いた場所、和気藹々とした雰囲気の中で学会の事、各患者会の話、お互いの様子などを語り合い大変楽しい時間となりました。

◆◆来年は横浜で◆◆

翌十九日(日)のほぼ学会終了まで展示コーナーを開設し、患者会の存在や活動内容を広くアピール



京都での懇親会

ルしました。最終日も多くの関係者の方々が訪れてくれました。この三日間は患者会としての初めての試みでしたが、成功裡の内に終了することができました。来年は横浜で開催されると言うことですが、今後も患者会コーナーを継続開設できるように各患者会で協力してやっていこうと思確認してそれぞれ帰宅の途につきました。

この三日間の準備ではいつものように阪大の西田様には展示準備等で大変御尽力して頂きまして、改めて感謝申し上げます。また相談医の東山先生始め多くの方にもご協力頂き併せてお礼申し上げます。2

シリーズ 乾癬治療の最先端 その①

生物学的製剤：21世紀の乾癬治療

藤田真由美先生(米国コロラド大学 医学部 皮膚科)

第103回日本皮膚科学会総会(京都)より乾癬の治療についての最新の発表の要旨をシリーズで紹介します。第1回は今後期待される生物学的製剤を用いた新しい治療についてです。

(日本皮膚科学会雑誌第114号巻第3号より引用 文責 東山真理)

分子生物学的技術の向上により、目的とする蛋白をターゲットとする治療法が可能になり、免疫機構を全般的に抑える従来の免疫抑制剤に比べて副作用の少ない薬剤が次々と開発され、欧米の医療現場では関節リュウマチや乾癬の治療に革命をもたらしている。

平成15年11月において乾癬のみ治療に認められている生物学的製剤は2つある。

1. アリファセプト alifacept

Tリンパ球の活性化に必要なシグナルを抑制する受容体型蛋白。効果の発現は遅いが緩解期間が長い。

2. エファリツマブ efalizumab

Tリンパ球の皮膚への浸潤と活性化を抑えるので比較的効果が早い。中止によりリバウンドが見られることがある。

その他にすでに米国で、内科領域で数年間使用され乾癬での有効性が確認されているものが2製剤ある。共に炎症時に放出されるサイトカイン(TNF- α 、腫瘍壊死因子)を抑制する。

1. インフリマキシブ infliximab

(商品名「レミケード」)

体内のTNF- α を抗体で中和する。即効性があるがマウスの蛋白質が混じっているためアレルギー反応が起こることがある。

2. エタネルセプト etanercept

(商品名「エンブレル」)

体内のTNF- α を可溶性受容体で中和する。関節リュウマチや乾癬性関節炎などで承認され、乾癬でも有効である。

これら生物学的製剤の特徴

1. ターゲットを絞った治療
2. 副作用が少ない
3. 肝障害を起こさない
4. 腎障害を起こさない
5. 血液検査などのモニターがあまり必要でない
6. 他剤との相互作用がない
7. 催奇形性が報告されていない
8. 高価である。

問題点

ターゲットを絞りながらも免疫の一部を抑制するため、感染症や腫瘍などの副作用は従来のものより少ないものの皆無ではない。適応や投与量のさらなる検討が必要である。

最後に

乾癬の治療の選択肢が広がり、少ない副作用で効果も高いことから、これらの生物学的製剤に治療に対する今後の期待は大きい。

「Psolia News」 創刊号～第18号縮刷版

5周年記念誌を発行

.....
5年間の歩みを一冊に
.....

懇談会も毎年充実した内容となってきました。また会設立と同時に会報（PSORIA NEWS）も発行され、今回第二十号を数えるまでになりました。

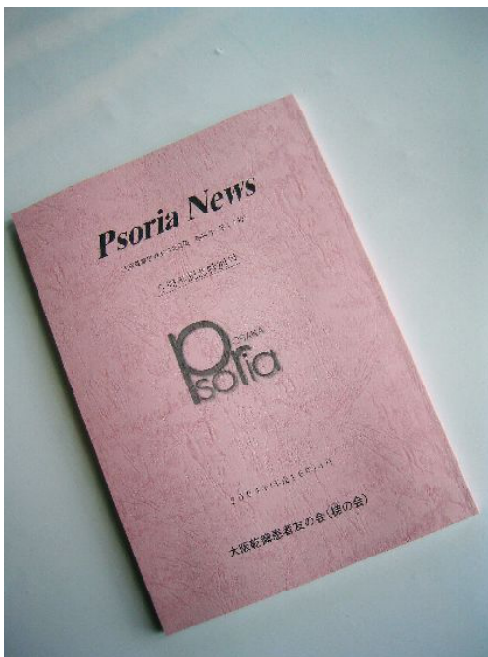
幹事会では従来より五周年には何か特別企画を考えようと話し合っておりましたが、乾癬に関する様々な情報、会員の実態や気持ち、そして会の活動を記してきた会報を今回まとめて、縮刷版として発行しようということになり、総会でも承認して頂きました。先の京都の皮膚科学会に間に合わせるべく編集作業を行って頂きましたが、この程完成・発行することができました。

記念誌では岡田会長の挨拶を始

めとして、本会の相談医、また事務局長として設立・運営に御尽力して頂いている日生病院皮膚科部長の東山真里先生のご挨拶、当初、会報発行をほとんど一人で奮闘努力して頂いた森前会長の創立当時の経緯の原稿、会の五周年の歩みをまとめた年表、そして会報創刊号（十八号）までの縮刷版を掲載しました。巻末には阪大の西田様の大変な御尽力により非常に充実したものとなっている大阪乾癬患者友の会ホームページの抜粋を載せました。現在までの会の歩みや各学習懇談会での講演記録など、資料としても非常に貴重なものとなったと思います。

また全国の患者会・相談医の

大阪乾癬患者友の会（梯の会）の設立五周年記念行事として、幹事会により企画立案されていました五周年記念誌（PSORIA NEWS縮刷版）がこの度発行に至りました。本会は一九九八年（平成十年）の十二月に発足し、昨年の十二月で発足五周年となりました。この間会員数も二百名以上になり、年二回の定例総会・学習



方々からも多くのメッセージを寄せて頂きました。阪大名誉教授の吉川邦彦先生を始めとして、斎藤様・小林仁先生・安田秀美先生（北海道）、藤本様・谷口芳記先生（三重）、青木様・木村様・衛藤光先生（東京）、長谷川様・森田明理先生（愛知）の皆様から心温まるお言葉を頂きました。

五周年記念誌に関していくつかのメールを頂きましたので御紹介します。

★少し前になりますが、「Psolia News」を受け取らせていただきました。様の会の会報誌もいつもお送りいただき有難うございます。いろいろと参考にさせて頂いておりました。今後とも宜しく願っています。
大分県立病院皮膚科 佐藤俊宏

★先日五周年の活動の冊子が送られて来て、読んで、とても参考になりました。医者から病名を聞いてから十年以上になり、とても悩んでました。様の会があることは、わたしには、心強いかざりです。様の会が続くよう願っています。私のできる範囲でお手伝いしたいです。 会員の方より

●お知らせ

・大阪乾癬患者友の会では会発足五周年を記念して今までの会報の縮刷版と乾癬関連の患者会の相談医や会長他の方々のメッセージ、その他資料を取りまとめた「Psolia News」五周年特別号（A4版150p）を作成いたしました。既に会員の皆様には送付させていただいていますが今年度会費の入金をいただいている方には送付を差し控えていたさせていただきます。現在非会員の方でも今後入会されたときに在庫の続く限り（一二年を目処）配布させていただきます。また今年度未入金の方は是非会費の納入をお願いいたします。なお近日常にはバックナンバーとして頒布も検討していますが価格は年会費と同等になる予定です。
・当面の入会者（入会金）には五周年記念誌を配布します
・海外からの入会も歓迎します。会費は原則三千元ですが送金が難しい場合は1500円でも受け付けます。



素晴らしい眺めを一望しながら

二月二十二日（日）研究会で大阪に來られていた北海道札幌市の小林皮膚科クリニックの院長でい

札幌 小林皮膚科クリニック

小林仁先生と

たのしいひととき

三井アーバンホテルで



最後にみんなで一緒に記念写真

らつしやる小林仁先生と大阪乾癬患者友の会の幹事で懇親会の機会をもちました。小林仁先生はご存知の通り、北海道乾癬の会の相談医で、本会の創立・運営にも日頃から大変御尽力して頂いていきます。このたび研究会で大阪へ來られることがあり、本会の幹事とぜひお話ししたいという申し出をして頂き、当日大阪弁天町にある「三井アーバンホテル」の和食レストラン「磯風」において、懇親の場を設けさせて頂きました。当日は十一時からで、幹事会からは岡田会長を始め、長船、加納、赤瀬、尾崎、浜田、原田、小林の八名が参加しました。当日はホテル

北摂地区で会を発足

この程、大阪府の北摂地区（吹田市・豊中市・箕面市など）にお住まいの会員同士で、どんなことでも自由に話せる会を発足しました。会の名称・場所などについては、集まって下さった皆さんと話し合っ

て決めたと思っています。会に参加して頂ける有志の方は大阪乾癬患者友の会の事務局までご連絡して下さい。お待ちしております。

P S 参加して頂ける方は電話番号とできればご住所もお知らせ下されば幸いです。

の二十階にあるとても見晴らしのよいレストランで、目の前に広がった大阪市街を一望しながら、小林先生との時間を過ごしました。小林先生はいつものように終始大変にこやかな顔で、最近の乾癬治療の現状や研究成果を語って頂き、また幹事からも体の症状や日ごろの思いなどを話しながら、その他いろいろ楽しい話題に時間の経つのも忘れるほどでした。最後はホテル前でみんなで記念写真をとってお別れをしました。小林先生にはこのような催しを提案して頂き本当にありがとうございました。

〇〇〇ご案内〇〇〇

東京地区乾癬患者友の会 第5回乾癬学習懇談会

- 日時 2004年6月5日（土） 13:00～
- 開会場所 慈恵医科大学大講堂
- 特別講演
 - ☆『はじめに』 東京女子医科大学 川島 眞先生
 - ☆『QOLとは』 東京女子医科大学 小林 里実先生
 - ☆『乾癬の患者さんにおけるQOL』 東京女子医科大学 神田 憲子先生

（東京地区乾癬患者友の会ホームページより抜粋）



三月七日の大雪の日に三重県乾癬の会の冬の行事に参加してまいりました。
その内容をご報告致します。
今回は大阪よりNさんご夫婦とMさんと岡田が参加致しました。
参加者数は約二十名であいかん友

三重県乾癬の会の定例冬の行事

「温泉もみんな で入れば怖くない」

参加記 岡田

の会からも参加されました。
肝心の谷口先生の学習講演については雪のため到着が遅れてうかがうことができませんでしたが、あとの歓談からも患者の立場に立って細やかなご指導をいただいていることがわかりました。その後四時間ほどにわたり三重の皆様とアットホームな懇談をすることができました。
また温泉入浴は他の入浴客も少なく雪景色の中でリラックスして入浴、歓談することができ有意義な一時を過ごすことができました。
今後大阪でも何かこのようなふれあいを中心にした行事も必要と痛感した次第です。これにつきましては会員の皆様の建設的なご意見をお待ちしています。

＝プログラム＝

実施日時 3月7日(日)
10時～15時
場所 神原温泉 神湯館
会費 3000円
内容 10:00～12:00 勉強・近況報告等
12:00～13:00 会食
13:00～15:00 入浴・懇親等

今年は患者と医師でワークショップの予定

「乾癬学会 in 山形」の詳細が決まる

第19回日本乾癬学会総会学術大会

会期：2004年9月4日(土)～5日(日)

主催：近藤繁夫教授(山形大)

事務局：三橋善比古先生
山形大学医学部皮膚科学教室

会場：山形テルサ
山形市双葉町1-2-3

オーガナイザー

小林 仁 先生

小林皮膚科クリニック(札幌市)

江藤 隆史先生

東京通信病院

◆◆ 多くの参加をお願い致します

テーマ

「今語ろう、
乾癬の悩み」

※ワークショップとは、あるテーマについてみんなで討論するもので、山形の場合は患者、医師などが集い今までの学習会などのような受け身の講義とは異なり参加者自ら積極的に問題意識を持って参加する討論会です。今回のワークショップのテーマは「今語ろう、乾癬の悩み」で乾癬についての悩みも多い事と思いますので是非この機会に討論して欲しい悩みなどを山形に持ち寄り、みんなで熱く語りましょう。

第11回定例総会・学習懇談会開催のお知らせ

「講演1. 医者も同じ悩みを持っている。」

「講演2. 乾癬における死海治療とその他の療法」

手塚 正先生

(前近畿大学医学部皮膚科学教室教授 元乾癬学会理事長)

■期日：平成16年6月12日(土)

■場所：日生病院(別館講堂) ※下図参照

550-0012 大阪市西区立売堀6-3-8 (06-6543-3581)

■時間 12:30 受付

13:00 議事・総会(会計報告・事業計画等)

13:30 患者体験談

14:00-15:00 講演

テーマ「講演1. 医者も同じ悩みを持っている。講演2. 乾癬における死海治療とその他の療法」

手塚 正 先生(前近畿大学医学部皮膚科学教室教授 元乾癬学会理事長)

15:00 質疑応答

16:00 懇親会

■参加費用 会員及びその家族は無料

非会員：1000円(当日入会された方は無料)

※懇親会は会員・非会員にかかわらず300円です。

■懇親会

懇親会には患者の皆様と乾癬を専門とする医師、看護師、ボランティアが参加され歓談を行います(お茶・お菓子類を用意します)

■交通

◎地下鉄

中央線・千日前線「阿波座駅」下車

西側(6)番出口南西方向徒歩3分

長堀・鶴見緑地線「西長堀駅」下車

(4)A番出口西へ1つ目信号

北方向徒歩6分

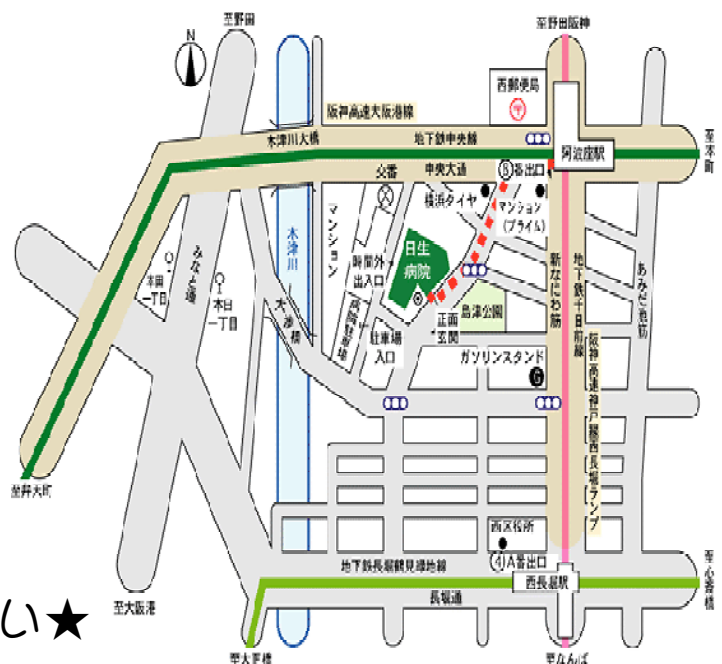
◎車

阪神高速道路では、「信濃橋」

「汐見橋」「西長堀」「阿波座」

「中之島西」出入口が便利です。

日生病院交通案内図



★ぜひみなさんご参加下さい★

お知らせ

★編集局の方では皆さんの原稿を募集しています。乾癬についての自分の体験、自分が行っている治療法、日常生活で心がけていること、乾癬治療に役立った事、その他何でも構いません。エッセイ・詩・短歌・俳句などもぜひ投稿してください。お待ちしております。

★「PSORIA NEWS」では「乾癬Q&A」コーナーを設けています。症状や治療法、薬など乾癬に関する質問がありましたら編集局までお寄せ下さい。代表的な質問などを選んで、相談医の先生方に会報上で答えて頂こうと考えています。

★「大阪乾癬患者友の会」の幹事会は全て会員や相談医の方のボランティアで成り立っています。会では幹事になって頂ける方を募集しています。幹事の人数が少なく大変困っています。自分のやれる範囲でももちろん結構ですから、ぜひお手伝い下さい。当面次の仕事をお手伝い頂ける方を探しています。 1) 定例総会等行事のボランティア 2) 会報送付作業のボランティア 3) ホームページ管理等のボランティア 4) 幹事会参加メンバー(5名程度)

ホームページのご案内

大阪乾癬患者友の会(梯の会)では、ホームページを作成・運用しております。乾癬についての治療法・薬・生活上の注意や総会のお知らせ・会報の抜粋・掲示板・乾癬関係のホームページへのリンクなどが掲載しており、役に立つ情報が一杯です。ぜひ御覧になって下さい。ホームページアドレスは下記の通りです。



<http://derma.med.osaka-u.ac.jp/psa/>

会員の皆さまへ 会費納入のお願い

年会費を下記の要領で徴収させていただいております。より充実した会の運営のため何卒、ご理解のほど宜しくお願いいたします。

会 費：年間 3000円

納入方法：郵便振替

納入期限：毎年3月末日までに納入お願いします。振込用紙に必要事項を記入のうえ郵便局の振り替え口座に振り込みをお願いします。会費につきましては、未納の場合、自動的に退会となります。受領書は会報発送時に同封いたしますが、振り込み用紙の領収証を保管願います。

郵便振替 口座番号： 0920・2・155745 「大阪乾癬患者友の会」

「PSORIA NEWS」

第20号 2004年(平成16年)5月発行

発行：大阪乾癬患者友の会(梯の会)

事務局：550-0012 大阪市西区立売堀6丁目3番8号

日本生命済生会附属日生病院皮膚科内

TEL 06-6543-3581 Ext.159 FAX 06-6543-3418

E-mail psadmin2@derma.med.osaka-u.ac.jp

発行責任者 岡田(会長) 小林(編集責任)

2004年度 大阪乾癬患者友の会 幹事

会長	： 岡田	会計監査	： 加納	幹事	： 尾崎
副会長	： 長船	会報編集	： 小林	幹事	： 池内
事務局長	： 東山	幹事	： 赤瀬	幹事	： 北浦
書記	： 高橋	幹事	： 山田	幹事	： 浜田
会計	： 原田	幹事	： 山田		